

ちろり

加羅古呂庵 一泉

2024.1.20 作曲

二上がり

三味線

二 二 三

花雲調子 途中六・斗 調弦替えあり

箏I

三 二 三 五 七 九 斗 為 巾

花雲調子 途中六・斗 調弦替えあり

箏II

三 二 三 五 七 九 斗 為 巾

十七絃

二 三 五 七 九 1 3 5 7

運指、奏法については、適宜工夫していただいてください。

尺八はオプションです。

1尺8寸管

尺八I

口 ピ

1尺8寸管

尺八II

口 ピ

ちろり

地震や水害、事故や戦争、火災や犯罪と理不尽なことが相次ぎますが、歴史を振り返ってみれば、理不尽なことの連続で、そうした中でも人々は逞しく生き延びてきた結果、今日の私たちがあるのでしょう。応仁の乱で京都が焼け野原になった室町時代も理不尽なことが続いていたのかもしれませんが、『閑吟集』(1518年成立)の歌の中には、厭世気分が漂うとともに、苦しみや痛みを乗り越えてきた人々の姿が垣間見られます。『閑吟集』の中から3つの小歌を題材にして、曲をつくりました。

世間は ちろりに過る ちろりちろり (49)

人の心は知られずや 真実 心は知られずや (255)

何せうぞ くすんで 一期は夢よ ただ狂へ (55)

いろいろなことがあっても、世の中は瞬く間に過ぎていきます、ちろりちろりと。人と人との付き合いなのか、男女の仲なのか、人の心はわからないものです、ほんとうに。まじめくさったところで、一期は夢。ただただ狂ったように生きよう。そんなメッセージのように思えてきます。

参考文献：『閑吟集』（真鍋昌弘校注 岩波文庫）、つれづれの文車—趣味の文書室—

※この曲は、箏×2・十七絃・三絃による四重奏曲ですが、オプションで尺八×2パートを追加することができます。尺八譜は、加羅古呂庵ホームページに掲載しています。演奏会の合同曲などとして演奏する場合に、ご活用ください。※縦譜につきましては、当該楽器のほかに他の楽器のパートを補助的に記載しています。ただし、複数のパートを集約し、オクターブも変えているところがあります。また、十七絃は箏に置き換えて記載しています。正確には、五線譜(スコア)をご参照ください。



加羅古呂庵ホームページ

	36	31	26	21					
レ チ レ レ レ	V V	ロ ス サ シ マ	ツ ツ チ ミ	チ 人 ロ ロ	レ チ 人 ロ ロ	レ チ レ レ レ	レ チ レ レ レ	レ チ レ レ レ	レ チ レ レ レ
チ レ ツ チ レ ツ	V V	ミ チ レ チ チ チ	甲 口 チ ツ	レ 人 チ ツ ミ	V V	レ ツ レ チ チ	レ ツ レ チ チ	レ ツ レ チ チ	レ ツ レ チ チ
チ ロ 人 人 人 人 チ	V V	シ チ 人 人 人 マ	人 レ チ ツ	ロ ロ ミ チ チ	V V	シ チ チ 甲 ミ 人 人 人 チ	シ チ チ 甲 ミ 人 人 人 チ	シ チ チ 甲 ミ 人 人 人 チ	シ チ チ 甲 ミ 人 人 人 チ
レ 人 人 チ レ ツ チ	V V	ミ チ レ ミ ミ	甲 口 人 人	シ チ レ チ シ	V V	レ 人 人 人 人 チ	レ 人 人 人 人 チ	レ 人 人 人 人 チ	レ 人 人 人 人 チ
チ 人 ロ ツ 人 ロ	V V	レ チ レ ツ レ	V V	レ ツ ミ ミ ミ	V V	チ ミ チ チ レ	チ ミ チ チ レ	チ ミ チ チ レ	チ ミ チ チ レ

(2)

	16	11	6	尺八II	尺八I				
レ 人 人 人 レ ツ ロ	V V	レ 人 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ						
レ 人 人 レ ツ ロ	V V	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ
レ 人 人 レ ツ ロ	V V	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ
レ 人 人 レ ツ ロ	V V	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ	レ 人 人 レ ツ ロ

(1)

世の中はちろりに過ぐる

ちろり

加羅古呂庵一泉作曲

2024. 1. 20

	156	151	146	141				
甲 レ、 レト レロ レレ レ、 レト レロ レレ	V V	甲 ロ 人 人 人 ロ ロ	V V	チ チ レ レ ロ レ レ	V V	ロ ツ ツ 人 人 ロ ツ	V V	V V
ツ 人 ロ チ ツ ロ チ ロ 人 人	V V	甲 ロ 人 人 人 ロ ロ	人 人 人 人 人 人 人	チ レ レ レ レ チ チ	V V	チ チ チ チ チ チ チ	チ チ チ チ チ チ チ	チ チ チ チ チ チ チ
レ、 レト レロ レレ レ、 レト レロ レレ	V V	ロ 人 人 人 人 ロ ロ	人 人 人 人 人 人 人	レ レ レ レ レ レ レ	V V	チ レ レ レ レ チ チ	V V	V V
ツ 人 ツ チ レ チ 人 ロ チ ロ	V V	ロ 人 人 人 人 ロ ロ	人 人 人 人 人 人 人	レ レ レ レ レ レ レ	V V	ロ 人 人 人 人 人 人 人	人 人 人 人 人 人 人	V V
レ、 レト レロ レレ レ、 レト レロ レレ	V V	ロ 人 人 人 人 ロ ロ	人 人 人 人 人 人 人	ロ ロ 人 人 レ レ レ レ レ	V V	人 人 人 人 人 人 人	人 人 人 人 人 人 人	V V

	136	131	126	121				
ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	チ チ チ チ チ チ チ	ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	ツ 人 ツ チ レ チ 人 ロ チ ロ	V V	人 人 人 人 人 人 人	レ レ レ レ レ レ レ	V V	人 人 人 人 人 人 人
V 人 ロ 人 人 人 人 ロ	V V	V V	レ、 レト レロ レレ レ、 レト レロ レレ	V V	レ レ レ レ レ レ レ	レ レ レ レ レ レ レ	V V	人 人 人 人 人 人 人
ツ 人 ツ チ レ チ 人 ロ チ ロ	V V	V V	ツ 人 ツ チ レ チ 人 ロ チ ロ	V V	レ レ レ レ レ レ レ	レ レ レ レ レ レ レ	V V	人 人 人 人 人 人 人
ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツ	人 人 人 人 人 人 人	ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツ	人 人 人 人 人 人 人	レ レ レ レ レ レ レ	V V	レ レ レ レ レ レ レ	V V	人 人 人 人 人 人 人

